

2023.08.06. 聖書預言・アップデート

患難時代前携挙への準備

JD ファラグ牧師

お父様、主よ、あの希望に感謝します。主よ、周りのすべてが制御不能で、終わりなく收拾がつかないような時、あなたを見上げられる事に感謝します。あなたが私たちに明晰さをもたらし、焦点を合わせてくださることを感謝します。主よ、私たちは、この希望を知らない人々のために祈ります。主よ、今日彼らが、あなたを見上げ、あなたを知ることではしか得られない平安の光を彼らに与えて下さる日になるよう祈ります。主よ、このメッセージと共に過ごすこの時間を祝福ください。聖霊様、私たちに語ってくださいませんか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。ありがとうございます。オンラインで参加の方も歓迎します。ご覧になって大変嬉しいです。これは、日曜日の朝の2つの礼拝の内の1つ、第一礼拝で、「聖書預言・アップデート」に毎週専念し、ハワイ時間11時15分からライブ配信の第二礼拝は、聖書の節ごとの学びです。現在「第一ヨハネの手紙3章」で、今日見ていくのは、「私の人生から生じる実は、常に私の人生の根底にあるものを露呈する」なかなかでしょう？ 良いタイトルでしょう？ ユーモアを交えて、良いタイトルだと言って下さいよ。またユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、ウェブサイト JDFarag.org へ直接行ってください。ある時点でライブ配信を終了するので、ウェブサイトでは、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごとご覧になれるからです。

それでは、始めましょう。今日、お話ししたいのは、「患難時代前携挙への準備」と私が愛称するものです。私がこのタイトルと題材を選んだ理由は、私たちが気づいているかどうかに関わらず、私たちは準備を整えています。場合によっては、敢えて言うと、プログラムされていて、準備できているかどうかの問題なのではなく、私たちが、準備されているものに対して、準備できているのかどうかの問題です。これはきっと単純化しすぎでしょうけど、それでも言わせてもらいます。私たちは、世によって世のために準備するのか、世から取り除かれるために準備するのか、そのどちらかです。これは患難時代前教会携挙によって、私は決して尻込みしません。誰がどう言おうと関係ありません。私は、こんな風に言われても、決して臆したり、怯んだり、脅えません。「あなたは、患難時代前携挙に独断的だわ〜」私は初っ端から、胸の内を吐き出す必要があります。でも患難時代前携挙とは、

「生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会う。」と、私の聖書、「第一テサロニケ人への手紙4章17節」に書かれています。しかし、悲しい真実は、クリスチャンを公言する人を含む大衆が、私たちがこの世から連れ去られる時の、患難時代前携挙ではなく、実際にこの世に下る患難時代のために準備している事。悲しい事に、それが事実なのです。さらに悲しいのは、多くのクリスチャンは、携挙によって私たちが間もなく旅立つことに備えていないだけでなく、一部の牧師や教師を含む他の人々と共に、教会携挙、すなわち患難時代前携挙が今まさに起こり得ると信じる勇気のある人々を卑下し、軽蔑しています。ちょっと（上を見上げて）確認しています。実際はもっと酷いのです。これを片づけておきたいと思います。でも更に酷いのは、聖書預言の教師たちもそれに加わり、「携挙が起こるまで何十年もありませんよ」と提言する者を、あえて非難しているからです。私たちがその世代です。でも「あなたは日付を設定している！」という人たち、止めて下さい。止めて。まだ始めてもいないのに、自分がもうこんなに怒っているとは。落ち着いてみます。主よ、ごめんなさい。どうか助けて下さい。実際、2、3日に前頂いた最高に興味深いメールを皆さんと分かち合いたいと思います。こ

のメールのいくつか抜粋を共有します。正にこの問題を物語っています。私は個人的にこの問題に奮闘していて、このメールを頂いて、こんな感じです。

「主よ、ありがとうございます。あなたは、このメールを送ってくれる誰かが、私に必要だった事をご存知でした。」なので、皆さんに分かち合います。

「こんにちは。JD 牧師。私は、カリブ海のトリニダードからオンラインであなたをフォローしています。でも今日は、私があなたのミニストリーに感謝するもうひとつの理由を、はっきりと述べたいと思います。ある牧師が、日にち設定による弊害を懸念している一方、キリストの来臨を心待ちにする私たちに対してとった”態度”に、大変がっかりしました。その牧師曰く、「彼らの終末論には学問や学術が欠けている。ヘブライ語やギリシャ語を教えようとすべきではない。彼らは、これらの言語の正しい知識からは程遠いからだ。」私がこれを書いたのではないですからね。分かってくださいよ。私は書けたでしょうけど、きっと書きませんから。でもこの件に苦勞しています。彼女は、諺で言うところの的を得ています。こんな感じだからです。彼女の書いた「態度」という単語を使います。「ある種の学問的資格がある人の一部、原語のヘブライ語とギリシャ語を正しく理解している者。あるいは聖書的に適格な学術。」それが今、結束し、チームを組み、力を合わせて、「ねえ！」と言っているキリストにある兄弟姉妹にのしかかっています。「はい、でもあなたの学位は？ 名前の後に書くタイトルは何？」「私には何もありませんよ。だから私は名前を変えたのです。自分の名前の前に J.D.の文字を書きます。」J.D.は、イエスの弟子の略ですよ。使徒パウロを思い出します。このメールに戻りますが、ちょっとお付き合いください。でも使徒パウロを思い出します。コリントの教会宛の彼の最初の書簡に、読み始めると、初っ端から、2章に入る頃までに、パウロが書いているのは、「私は自分の知性を印象づけようとしてあなたがたのところに来たのではない。私は雄弁さであなたがたを説得しに来たのではない。それよりも、十字架につけられたイエスを宣べ伝えるために来たのです。」で、ある男がいて、どんな基準であれ、かなり印象的ですけど、彼は確かに、、、私だったらそうしたでしょう。だから神は、私が学歴を上げることを許されなかったのでしょうか。私は辛うじて高校を卒業しました。自慢に思ってませんが、しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱い者を選ばれました。

(I コリント 1:27)

学位は何も悪いことではありません。でも学位が、信任、認証、検証になる場合は別で、こんな優越感があります。「ああ、あなたはどのような者なのか？ あなたは何者でもないじゃないか。」そう、確認したところ、神が用いられるのは何者でもない者ですよ。ある人の言い方が好きです。「あなたは重要人物ではない。」「ええ、私は主というお方にある者です。」これは問題です。私は真正面から取り組みます。更に酷くなるのが目に見えているからです。彼女は、終末論的な学問やギリシャ語やヘブライ語の知識が要る、聖書預言を教えるには学問的な資格が要するという考えへの葛藤を私に話してくれました。メールの続きを引用します。改めて、非常によく書けています。

「その牧師は、自分が攻撃しようとしている同胞たちを、罵り卑下する必要はなかった。彼がこのように話すのを聞いて、私はとても落胆しました。私は神学者ではないし、どこの墓地/cemetery も出ていません。」実は、神学校/seminary と書いてあります。彼女は墓地/cemetery とは書いてません。-(笑)- 私が補足しました。「しかし最近、私のいる場所で私が観察したものの故に、見張り人としての立場をとってきています。しかし、彼の話聞いて、私がそういう道を望むべきか、追求すべきかどうかさえ疑問に思いました。結局のところ、私はヘブライ語やギリシャ語を知りませんが、聖書を調べることはできま

す。... 会衆：そうだ！ おお。。。...それは私の価値を下げているのでしょうか？... これは泣きたくありません。...私は、彼や彼らほど学識がないから、ぶどう畑で働くのにふさわしくないのでしょうか？

時に、ふと思うのですが、このような人達は自分たちが何年も前に持っていなかった情報を兄弟が明るみに出している事に対して、憤慨しているのではないのでしょうか。特に、彼らの何人かは、時の預言や時の兆しについて多くの書籍を出版しています。今や彼らは、自分たちが間違っていると分かっている、私には、彼らがまだ何年か前の自分たちの立場を正当化しようとしているように見えます。そんな立場は、彼が非難している兄弟へと同様に有害です。私に言わせれば、彼はあまり親切とは思えなかったし、主にある兄弟として彼らを受け入れていないように思えました。2年前、あなたのミニストリーに出会う前、私が聴いていたのはこれらの説教者たちでした。彼らの説教が私に与えたのは、まさにこの効果だったのに。彼らは、具体的な日付は言わなかったけれど、その必要はなく、私は、彼らが教えてくれたことに基づいて、非常に重要な決断をしました。そして、彼らは私を困惑もさせました。彼らは、キリストがまもなく来臨されるという力強い説教をしながら、ずっと先のことを計画しているのを聞きました。それから、彼らのカンファレンスをいくつか聴き、戸惑いと怒りさえ覚えました。人々は、こんな質問をしました。「反キリストはこんにち健在なのですか？ また、携挙の後どれくらいで患難時代が始まるのですか？ あるいは、携挙が起こるまでの時間は？」それに対する回答は、「反キリストが健在かどうかはわからない。」(へ??) 私の脳では、これは理に適いません。「携挙はもういつでも起こり得るけれど、患難時代は今から数カ月後、数年後、または50年後に始まるかもしれない。」なんて。これらの同じ説教者たちが、ガリラヤの結婚式を引き合いに出して、携挙を証明するため「ヨハネの福音書14章」を使っています。聖書は、あることが起こり始めるのを見たら、贖いが近づいているから、顔を上げるように告げています。これら2つの例は、さっき書いた彼らのその答えのどこにありますか？ 彼らは私を大いに混乱させています。それから失礼ながら、携挙がいつ起こるのかに関して実際、彼らの一人がインタビューで、「50年後になるかもしれない。」と言っているのを聞いたことがあります。想像下さい。牧師さん、私はあなたと同じです。」あなたが大好きですよ。私と同じなら、お気持ちお察しします。彼女は続けてこう書いています。「それが私の祝福された希望です。これらの説教者たちは、「たとえすべてが整然と並んでいても、私たちはその日、その時を知らないのだから、神はそれをあと50年も続くようにされるかもしれない。」と言います。彼らは、自分たちは無害だと思っていますが、そうではありません。彼らは、私の祝福に満ちた希望 **(テトス 2:13)** の喜びを奪いました。主において、他の多くの良き兄弟たちを見てきた事で得た期待、待望などのすべてを。その犠牲は大きいです。この指導者たちは、熟練の「預言の見張り人」のように宣伝し、そのように語ります。ある人たちは、学問や教育や学術で多くを隠しているように見えます。聖書は、私たちには聖霊の後押しがあり、「だれにも教えられる必要はない」と教えているのに、このような考え方で、聖書はどのような位置を占めるのでしょうか。」「第一ペテロの手紙」ですね。いや、「第一ヨハネの手紙」ですね。最近学びましたね。牧師が何を説教したか覚えていないのはかなりマズいですね。これについて、話したばかりですよ。聖霊があなたに見極めを与えて下さる。(I ヨハネ 2:27, 3:24 参照) 主にあるこの尊い姉妹が仰っています。

「ああ、私は彼らの話を聞かねばならないのか。彼らは権威者だから、彼らは学歴を有しているから、彼らには資格があるから。それなら聖霊は必要ないのか。聖書は必要ないのか。どうやら彼らは、私の代わりに私のためにそれを解釈してくれるらしいから。」ふむ。。。勉強は大事ですが、正式な訓練を受けた者だけが声を上げるべきとは、恥ずべきことです。それでも、私たちはキリストのものです。違いますか？

彼女がここで何を言っているかわかりますね。彼女はこう言っています。「私は何者でもなく、ただイエスを愛して、聖書が語る通り、イエスがもうすぐ戻って来られるのを待ち望んでいます。」

私は見張って、私は時を見極め、時を理解し、イッサカル族のように、私は何をすべきか知っています。

(I 歴代誌 12:32 参照)

私はたまたま、いくつか聖句を知っていて、あなたみたいではないけど。でも、聖句をみると、聖書が最終的権限です。私がこんな方法で始め、皆さんに分かち合いたいと思った理由は、この姉妹が雄弁に、情熱的に書いている通り、私たちは聖書で、パウロがそうであった様に、いつでも起こり得る携挙を期待し準備するようにと勧められています。2000年前に、「生き残っている私たちが」です。どの世代も、神のご設計により、携挙は自分たちが生きている間に起こり得ると考えました。それは可能でした。彼らは準備していました。そして彼らは、ギリシャ語とヘブライ語の学者でした。彼らは神学者ではありませんでした。ギリシャ語やヘブライ語の学者でなくても、神学者でなくても、終わりが近いのではなく、終わりがここにあるのはわかります。次の難関を突破する前に、もうひとつ。時に不思議なのが、もし逆が真実でないなら、、、お付き合いくださって、最後まで聞いて下さい。私を牧師として見てくださっている皆さん、それは私にとって、非常に特権です。私は正式な教育を受けていない者として、毎週、皆さんの前に立つ特権は、皆さんがご存知でしょう。再度、(正式な教育は)何も間違っていない。私は、ギリシャ語・ヘブライ語の学術資格はありません。アラビア語は少し話せます。それを言うとおこうかと思って。私は、神が私をご覧になって、こう思われた者だと思います。「わたしは、こういう男を用いれる。」天の軍勢は、「ええ、でも、彼には印象的な経歴がないだけではなく、実は履歴書すら持ってませんよ。」「わたしは知っている。」「ええ、でもあの男ですか？頼みますよ。もっとましなのがいるでしょうに。」「わたしはそういう人物を用いる。そうすれば、人々は、それが彼でないことがわかるからだ。なぜなら彼を見なさい。」

私は皆さんの前に立って、手柄は私の経歴によるもの、とすることはできません。あ”～～パウロは語ります。「私があなたがたのところ、自分にある知性や、説得力のある言葉で来たのではない理由は、私があなたがたの所に来た理由は、、、そうやって来ること出来たでしょうが、そうしなかった。その理由が知りたいですか？それは聖霊、聖霊の御力、そして神の御言葉であり、あなたは、”私の知性”ではないことを知るから。」

ですから、あなたが立ち去るとき、こうなるでしょう。「わお！神があのような人を用いられるなら、私にも望みがある。」なぜなら、間違いなく、まだあるのは「聖書預言・アップデート」後に、それを見られますけど、神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選ばれました。だから神だけがご栄光を得られます。

ダビデを考えます。最後の1つです。ダビデは候補にもあがっていませんでした。嘘でしょ？サムエルが、ウリムとトンミムを携えて、王位から退けられたサウルの後継者として次のイスラエルの王に油を注ぐためにやって来ます。サムエルが現れます。7人の若い男たち、毎日「24時間フィットネス(というジム)」で励んでいます。特に、長兄のエリアブ。文化的にこんにちも、長男が跡継ぎです。勿論エリアブが次のイスラエルの王。彼らがそこに立っている姿を想像してみてください。エリアブが他の兄弟たちを見て、「私に決まっているだろ。なぜわざわざここまでするのか分からんね。」それでサムエルがやってきて、サムエルも困惑します。こんな風です。「あなたではない。」エリアブは、「いや、もう一度試してください。」「いや、あなたではありません。」そして年の順にいる兄弟をサムエルの前に進ませます。

(I サムエル 16：8～10 参照)

7人の兄弟の誰でもない。彼は仰天して、エッサイ（父親）に言います。

「私が間違ったファイルを引っ張り出したのではないことは確かです。あなたには、他に息子はいませんか？」「ええ、います。でも頼みますよ。あの子は末っ子ですから。」「その子はどこにいるのですか？」

「その子は外で、羊の世話をしています。」「すぐに連れて来なさい。その子が来るまで、誰も座ってコーヒーを飲んだりしない。」彼らがダビデを連れに来て、こう言った時のダビデの仰天した顔が想像出来ますか？「おい、預言者サムエルが来ていて、お前を連れてくるよう言っている。」「僕？？」「そうだ。お前だ。」「僕に言っているのですか？」「そうだ。お前だ。」詳細が記述にあって、私はそれが大好きです。神にはユーモアセンスがあられます。血色の良い、そう10代の少年です。羊の匂いがします。一(笑)一羊の世話をしていたところから帰ってきました。そう、想像してください。ええ、私はこんな風に考えます。私のために祈ってください。兄弟たちはこんな風だったと想像します。こういう怒っている身ぶり。ダビデが入ってきて、「何ですか？」サムエルは言います。「この子です。」(I サムエル 16：12 参照)他の兄弟たちは、「何だって？！父さん、あり得ない。」きっとダビデはこうだったでしょう。「分かりました。僕の心は神の御心に従います。僕は、主のものです。主を喜ばせることをします。」サムエルでさえ、、、ここで話しているのは、預言者サムエルですよ。主は、サムエルを脇に呼んで仰います。「おい、サムちゃん、こっちに来なさい。話があります。あなたが仰天しているのは分かっています。」「はい、そりゃそうです。」

「じゃあ、ちょっと説明しておきます。人は外見を見るけれど、わたしは心を見る。」(I サムエル 16：7 参照)

アサ王が、100万人のエチオピア軍に勝利した直後、預言者からこの預言を贈られたときを考えます。(II 歴代誌 15～16 章参照) その預言者はアサ王に言います。「主はその御目をもって、全地を隅々まで見渡し、その心のご自分と全く一つになっている人々に御力を現してくださるのです。」(II 歴代誌 16：9)これを想像してください。神があなたに与えられた想像力を使って、神が隅々まで見渡しおられるのを想像してください。「わたしは探している。お、あの男は使えない。彼は自分自身を必要以上に高く評価している。わたしがあの男を用いたとしても、彼はその手柄を間違いなく自分の物にする。彼の手柄になれば、誰もがもっと喜ぶだろう。結局のところ、人は彼の経歴を見るのだから。それもそのはず。あ～あの男を選ぼう。笑えるじゃないか。わたしの御心に従い、わたしに完全に献身し、わたしに完全に依存し、わたしに完全に頼り、わたしに完全に委ねる心を見つけたら、良くなってきたじゃないか。わたしはあの男を用いる。」「ええ、でも彼は牧師じゃありませんよ。」「わかっている。」「おお、彼にあるのはユーチューブチャンネルだけですよ。」「知っている。わたしはそういう者を用いる。」「ええ、でも彼は書籍も書いていませんよ。」「それがわたしにとっての決め手だ。わたしが用いるのは、そういう人物。あの男は、後で正面入口のテーブルで本を売らないからね。」何もそれが悪いことではありませんよ。彼らは今、自分たちは専門家だと自惚れているのだと言っておきます。神が用いるためにたまたまダビデを選ばれたのなら、神は、ダビデを用いるのに選ばれるのが問題ではなく、神は、資格証明あるすべての他の人物は選ばれないのが問題では？ 彼らが、その学問、学術、知識、神学、その他もろもろで、神が選んだ人を見下し、けなし、バカにし、軽蔑し始めた時、彼らは一線を越えました。私たち、大丈夫ですか？ ですから、そういうグループの人たちがいて、神はそのご主権と恵みの中で、見渡し、あらゆる専門家を困惑させるような者を選び、用いられました。彼らは実際、あえてこう発言します。「我々はこれから外れ

と思う。」この件が、私の話しの向かう先で、これが理由で、この方向で話します。私がしたい事は、出エジプト記に詳しく書かれていることを土台にする事です。私がしたい事は、出エジプト記に詳しく書かれていることを土台にする事です。つまり、イスラエルの民がエジプトを急いで出る準備をせねばならなかった時の、いわば出発準備の話です。つまり、イスラエルの民がエジプトを急いで出る準備をせねばならなかった時の、いわば出発準備の話です。彼らはエジプトでユーチューブチャンネルを立ち上げました。彼らはポッドキャストで、こう言いました。「ねえ、これが終わり。これが終わりだ。私たちは準備をしないと。」「出エジプト 12 章」に入ります。過越の預言の成就のイエスに関する類型論が至る所にあります。「出エジプト 12 章」に入ります。イスラエルの民が、いついかなるときにも備えねばならなかった緊急性と緊迫性に関する具体的な詳細に注目してほしいのです。「違うって。急がなくていいよ。まだ 50 年あるって。」違う違う。戻ってください。「出エジプト 12 章」これが終わりです。これが終わり。イントロの方法でしたいと思います。「牧師さん、これはすべてイントロですか？」いえ、そうじゃありません。本編に入りますから。それは、御霊が聞く耳と受け取る心のある人々、こんにちの教会の私たちに何を語っておられるのかを理解する上で、非常に重要です。

「見よ、わたしはすぐに来る。」(黙示録 22 章)

「出エジプト 12 章 11 節」を聞いて下さい。過ぎ越しであるのを理解してくださいね。時間の関係上、その話には入りません。過ぎ越しであるのを理解してくださいね。時間の関係上、その話には入りません。でも第 10 の災い、門柱に十字架の形に子羊の血が塗ってあれば、彼らは救われ、死の御使いは過ぎ越しします。この預言は、神の子羊イエス・キリストによって成就します。いいですか？ ここでイスラエルの民が、早急にエジプトから連れ出されようとしています。時間がありません。私たちには時間はありません。50 年ありません。

一出エジプト 12:11-

あなたがたは、次のようにしてそれを食べなければならない。腰の帯を固く締め (準備する)、足に履き物をはき、

(私たちは、スリッパと呼びます。ビーチサンダルって呼ばないで。) 私はそう呼びました。ハワイでは、ビーチサンダルとは決して呼びません。スリッパです。そう呼ぶと、パタパタにはたかれます。-(笑)-
...足に履き物をはき、手に杖を持って、急いで食べる。

時間がない。なぜか？ 主の過ぎ越しの時間だから。これが起こっています。私たちはこれをするのですよ。「出エジプト 12 章 33 節 34 節」、

一出エジプト 12:33-

エジプト人は民を”せき立てて”、その地から出て行くように迫った。...

この”せき立てて”を覚えておいてください。私はこの文脈の”せき立てて”が本当に大好きです。

...人々が「われわれはみな死んでしまう」と言ったからである。

一出エジプト 12:34-

それで民は、パン種を入れないうまの生地を取り、(時間がないからです) こね鉢を衣服に包んで肩に担いだ。(準備 OK)

「私たちは出発の準備が出来ました！」よろしい。「緊急ですね。」そう、時間がありません。それが理由だと分かります。39 節、

一出エジプト 12:39-

彼らはエジプトから携えて来た生地を焼いて、種なしのパン菓子を作った。それにはパン種が入っていなかった。...

その理由は、、注意して聞いて下さい。

...彼らはエジプトを追い出されて(エジプトから連れ出されるためにです) ぐずぐずしてはられず、また自分たちの食糧の準備もできなかったからである。

それはなぜなのか？ あっという間の出来事だったから。「ああ、私には食糧の準備のため 50 年あると思っていた。」違います。時間はありません。「私たちには待てる時間があると思った。」いいえ。待てる時間はありません。食糧準備の時間はありません。わたしはあなたを急いで連れて行くから。急いで、突然、すぐに、今すぐ、今すぐ。(上を見上げて) 再度、確認しています。確認。

「牧師さん、これで話はどこへ向かってるのですか？」イスラエルの民が、食糧の準備もせず急いでエジプトを出たように、 私たちにも当てはまります。言い換えれば、イスラエルの民は、エジプトから急いで出る緊急性と準備が必要でした。類型論的にエジプトは、世の描写です。イスラエルの民が、エジプトから急いで連れ出されたように、 私たちも患難時代前の携挙でこの世から急いで連れ出されます。時間はありません。で、私たちには問題があります。何が問題なのか？ 問題は、こんにち多くのクリスチャンにこういう緊急性がなく、患難前携挙に、急いで準備をしていない事。これにはいくつかの理由がありますが、少なくとも、彼らはまだ時間があると思っています。2, 3 年前に書いた本があるから、今すぐ起こっては困る。なぜならその本をもう一度書き直すか、編集するか、何かしなければならぬから。私たちにはまだ時間があって、そうでなければ...「ああ、ギリシャ語へブル語によると、、、」(いやいや、聖書で分かります)「私の経歴を見ましたか？」お、構いません。見る必要ないから。あなたのオフィスの壁に、額に入れて大きく飾っているのは知っています。毎日埃を掃うんでしょ。これで十分酷くなかったら、患難時代前携挙への準備よりも、実際、多くの人々が次のパンデミックの準備に注目しています。それはなぜか、と聞かれたら？ そう、多くの人々が、かつてない方法で大衆に流される多量かつ強力なプロパガンダによって、その嘘を信じているからです。かつて見たこともなければ、これからも見ることはないでしょう。今じゃない方が良いでしょう。ちょっと待ちます。このことについて詳しく説明したいと思います。具体的には、なぜ人々は嘘を信じるのか？ なぜ、このようなことが蔓延し、顕著なのか？ クリスチャンの間でさえも、預言の教師の間でさえも。それについて、残りの時間で話したいと思います。先に進むので、ここでライブ配信を終了します。

一本編一

私が言いたかったのはね、、これです。2, 3 年前の 2020 年か 2021 年に遡ると、面白いけれど悲しいのは、そう逆説的なのですけど、聞かれたのは、アーミッシュのコミュニティでした。なぜ、アーミッシュのコミュニティでは、コロナに感染しないのですか？

答えは：私たちにはテレビがないからです。-(笑)- 実話です。彼らは病気にもなりません。そう、彼らは洗脳されていないから。決して、、私たちは全部しましたよ。プログラミング、予測プログラミングに関して、複数の聖書預言・アップデートをしました。その映画は 50 年前から、全てこの為に私たちを準備(洗脳)してきています。予測プログラミングです。今戻ってみてみると、、あの聖書預言・アップデートは忘れません。より興味深いもののひとつでした。

(2020.08.30. 聖書預言 / プログラミング)

あれだけの資料に目を通すには、かなりの時間を要しました。ウイルスやパンデミックに関する非常に巧妙で潜在的予測プログラミングの大変有名な映画のほんの一握りだけを引用しました。また、実際に起こったこととほとんど同じ内容だったことも興味深いです。映画やテレビ番組、ネットフリックスのシリーズですよ。その前に実施された卓上演習はどうでした？ 皆さんに文書を共有しましたね。話を逸らせるつもりではありませんけど、話してしまったのもう遅すぎますね。今回はこのルートで行きましょうね。皆さんに文書を共有しました。でももう（検索で）見つかりませんよ。彼らは削除したから。共有したのは、2017年に、既にこの俗に言うワクチンがあったことについての文書です。知っていましたか？ 彼らはどうやって知ったのか？ わお〜びっくりします。ああ、先走ってしまってますね。とにかく、私が言いたかったのは、今、ユーチューブとフェイスブックで配信していないですからね。2, 3週間前、7月21日の記事から始めましょう。

事実報告書：ホワイトハウスは、パンデミック対策・対応政策室（Office of Pandemic Preparedness and Response Policy）と名づけた部署の立ち上げ。

訳すと：次のパンデミックに備えたい。

次があるの？ はい。続編です。-(笑)- いくつか簡単に引用します。

ー引用ー

「パンデミック対策・対応政策室の方針は以下の通り：パンデミック対策に関する連邦政府の科学技術への取り組みを推進し、調整する。特に、パンデミック対策・対応政策室（OPPR）は、次世代医療対策の開発、製造、調達の取り組みを監督する。（それだけでもすでに良くないことに聞こえます）新技術の活用（皆さんご存知ですね）を含むコロナやその他の公衆衛生上の脅威に対し、次世代のワクチンや治療法について米国保健福祉省と協力することを含む。

「我々が何十年も前から計画し、いわゆるワクチンもすでに準備していた。我々が用意したものを接種してもらうため、あなたがたにこの準備をする必要があった。」

間違いなく皆さんは、彼らが長い間、次のパンデミックに備え、国民をプログラミングし、準備してきたことはご存知ですね？ 今年の世界経済フォーラム/ダボス会議 2023 でトニー・ブレアの発言からも明らかかなように、このタイトル、タイトルだけでもね。「次のパンデミックに打ち勝つ為の100日」今年の世界経済フォーラム/ダボス会議 2023 でトニー・ブレアの発言からも明らかかなように、このタイトル、タイトルだけでもね。「次のパンデミックに打ち勝つ為の100日」3年間もマスクをしていた後で、まだ呼吸をしようとしています。-(笑)- また別のが来るの?? 引用します。トニー・ブレア、彼が誰か知っていますね？ 英国元首相でした、です、誰でも構いませんが。

ー引用ー

「まず、人口の面倒を見なければならない。また、この問題は、技術やデジタル・インフラとも関係していると思う。それがいかに重要か、私は強調したい。最終的にはデータが必要なことから。誰が接種し、誰が未接種かを知る必要がある。今後導入されるワクチンの中には、複数回接種するものもあるだろう。複数回の接種には、医療に関する理由がある。もっと一般的に言えば、パンデミックやワクチンのための適切な（これ→）”デジタル・インフラ”が必要だが、事実、殆ど多くの国にはそれがない。」

言い換えれば、彼らは準備不足で、準備が必要だ。なぜなら我々は、これから君たちにこれを仕掛けるからだ。お前たち全員に。事前に計画されたコロナパンデミックといわゆるワクチンにまつわるシナリオは、悪魔に取り憑かれた陰謀家たちが、事前に計画したことの、ある種の予行演習に過ぎません。因みに、

私は理由があつて彼らをそう呼びます。よろしければ、理由を説明します。グローバル組織、ディープ・ステート、その他何でも、参照する人がいますが、正直になりましょう。好きなタイトルで彼らを呼ぶことも好きなレッテルを彼らに貼ることも出来、彼らは悪霊が憑依した人たちです。あえて言えば、トランスヒューマニズムの名目の下永遠に生きられるという約束でサタンに魂を売った者もいるでしょう。ですから私は彼らを悪霊に取り憑かれた陰謀家なので悪霊に取り憑かれた陰謀家と呼びます。彼らは共謀していて、その原動力になっているのは、全員悪霊に憑依されているからです。サタン自身から生じています。その中の筆頭は、、、この人物の写真はもう見たでしょう。皆さん良くご存知の、他にもないビル・ゲイツです。彼は、洗脳された世の人々に絶えず注意喚起することで、前述のシナリオの舵取りをしてきたようです。世界人口は洗脳されていて、彼自身が認めている通り、削減しようとしている世界人口は、より多くの公衆衛生官僚機構を持たなければならない。彼が私たちに断言する言いますよ。”次のパンデミック”のために。The Hill 紙のゲイツへの最近のインタビューによると、ゲイツは、知っているに決まっています。"The Final Solution" (最終的解決策) と彼が実際に呼ぶものを提供することで、自分が作り出した危機そのものを事前計画し、投資し、利益を得ている人物なのだから。つまり、私ですか？ 私は、ちょっと深読みしすぎですか？ 私は、過剰反応でしょうか？ 私は、大げさでしょうか？ 私は、叫んでいますか？ はい、私は叫んでいます。-(笑)- 叫ぶのを止めますね。核心は、神はご叡智で、その恵みで、その愛で、御心に完全に献身する心のある者を見渡し、彼らを用いてこう警鐘を鳴らさせることが適切であると判断されます。

「これが終わり。急いで連れ出される準備をなさい。」

「じゃあ牧師さん、ちょっと待って下さい。もし、ロッキーの映画みたいに続編があったとしたら？ コロナ 2.0 とか、コロナ続編とか。」

もういくつありますか？ 28 ですか？ 追加接種の数に匹敵します。実話を聞きました。10 代の若者が接種して、彼らは 8 回目の追加接種の列に並ぶため走るのです。8 回目ですよ。8 回目。OK。ですから、もしももうひとつ、携挙前に準備されているとしたら？ 私は、なお患難前携挙の準備をします。私は、彼らが私に準備させたいものに準備するつもりはありません。私は、イエスが仰ったことに準備をします。イエスは私のために、御父の家に場所を用意しに行かれました。そうでなかったら、イエスはそう仰ったでしょうか。イエスは、私に場所を用意しに行かれ、わたし（イエス）がいるところに、私もいるようにするためです。(以上ヨハネ 14:2~3 参照)

イエスが何について話しておられるか分かりますよね？ イエスは、イエスの花嫁の私たちのため子羊の婚姻を完成させ、祝うための場所を用意しに行かれました。その祝宴は、、、言いますよ。完全数:7の期間行われます。ある人が言った事が大好きです。「世が患難時代の間、私たちはお祝いをする。」

その 7 年の終わりに、花嫁は、花婿が父の家で彼女のために用意した場所から出て来て、婚姻部屋から彼らは出て来て、盛大な「子羊の婚宴」を祝います。それが私の備える事です。それが私の準備する事です。待ちきれません。イエスは仰いました。「わたしは行って場所を用意します。」考えて下さい。先週述べたと思いますけど、さっと言いますので。啞然とするのが、神は文字通り 6 日でご創造されました。天と地と海とその中にあるすべてを創造されましたね。そして、イエスが用意を始められたのは、殆ど 2000 年前です。ほ〜！！ どんな家になるのでしょうか！！

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの」(I コリ 2:9)

説明すること伝えることすら犯罪になるとパウロは言いました。そんな栄光が待ち受けている。言葉に

することすら不可能。表現できない。私は、イエスが私のために用意されると仰ったことのために準備をします。私は、彼らが準備しているものに準備するつもりはありません。私は、花婿が戻ってくるため、ラッパが鳴るのに準備をしています。そして急いで私を連れ出される。皆さんもですよ。その方が良いです。あなたがここに来て、私たちはもういませんから。そんな言い方をするのは良くないですね。

もう締めくくります。こう言わせてください。私は、偽りの父からの嘘を信じません。その理由は、偽りの父は、私の喜びを奪い、私の希望を殺し、私の信仰を破壊するため恐れを与えます。

なぜなら盗人が来るのは、盗み、殺し、滅ぼすためにほかなりません。(ヨハネ 10:10 参照)

彼は何を盗み、殺し、滅ぼすのか。敵はあなたの喜びを奪います。

主の喜びはあなたの力。(詩篇 28:7、ネヘミヤ 8:10 参照)

敵はあなたの望みを殺したいのです。そしてあなたの信仰を滅ぼしたい。これはそれを達成するものではないですか？ どういう意味ですか？ ええ、イエスは「マタイの福音書 24 章」で 2 人のしもべの比較の例えを仰いました。これは非常に深く、力強く、痛烈な例え話です。一人のしもべは義で、もう一人は不義だからです。忠実なしもべと邪悪なしもべ。二人のしもべに主人が言います。

「私は行くが、戻って来る。お前たちに、召したものを管理させ、忠実であるよう託す。私が戻って来た時に、私が召したことを忠実に実行しているお前たちを見たい。」

正しい忠実なしもべはこう言います、「よし。これをしよう。主人はいつでも戻って来られるから、急いで準備した方が良い。」主人が戻ってきたとき、彼は忠実にしている所を見つけて貰った。不義のしもべは、こうです。「50 年あるから、宴会しよう。」それが彼のした事です。自分で「マタイの福音書 24 章」を読んでみて下さい。悪いしもべは「いやいや、主人の戻りは遅くなるって。」ちょっと待って。どういう意味？ 「いやいや、急がなくていい。心配しなくていい。まだ 50 年あるから。私の学位（の額）を見て。今朝、埃を掃ったし。いやいや、宴会しよう。」

彼は酒飲みたちと酒を飲み、大食いの者たちと宴会に宴会を重ねる。ここまでにしておきます。仲間の使用人を殴って、「心配不要。主人の戻りは遅くなる。まだまだ時間はあるんだから。宴会しようぜ。」

そして主人が、思ってもみないときに戻ってきて、彼は仰天する。そのしもべがしている事を見つける。敵がついた最も危険で魅惑的な嘘は、「急ぐ必要はない」です。私は、ある聖書注解者のこういう説明と描写が好きです。サタンと全悪魔たちとの緊急会合、「おい、暗闇の王国の地盤を失いつつあるぞ。我々は新たな戦略を打ち出す必要がある。」それで悪霊の一人が言います。「考えがあります。天国はないと嘘をつきましょう。」

サタンは言います。「それは上手くいかないな。全ての被造物が、創造主について語っている。」その時、悪霊のチビが飛び出してきて、「あ、天国がないというより、地獄がないというのはどう？ 緊張を解いてくれるのでは？」

サタンは、「いやいや、多少効果があるかもしれないが、全員には効果はない。人間の内側にあるものだから。神はすでに「伝道者の書 3:11」で、人の心に永遠を与えておられる。だから、彼らはよく分かっている。多少は良いかもしれないけれど、彼らはそれでは引っかからない。」

サタンは言います。「こうしよう。天国がないという嘘でも、地獄がないという嘘でもない。急がなくて良いという嘘だ。そう、我々が緊急性を、せき立てる事を、今、というのを取り去れば、彼らはこうなる。

『ねえ、何を急ぐことがある？ 心配不要。時間はたっぷりある。』それが彼らを捕える方法だ。」

それでサタンはそうしました。彼はそうしました。そう、信者は、あなたに何の資格や学術があろうと、構いませんけど、信者が、人生をそんな風に生きていれば、そんな風に、この地上で最も益をする者になるため生きることになります。私は違うと思います。事実私は、こう語ったマーク・トウェインに激しく反対し、同意しません。「天の思いを持てば、地上の益にならない。」逆が真実です。天への思いを持てば持つほど、地上での益も大きくなります。なぜか？ 理由は、これが終わりだからです。

因みに、じゃあ、これが終わりじゃないとしましょう。終わりですけどね。あなたは何を失いましたか？ 携拳の後、天でこう言う人がいるとは想像できません。花婿との婚姻の完成を祝う 7 年間に、こんな風に言う人は想像できません。

「おい、こんなに準備しなければよかった。もし、もう一度すべてをやり直せたら、私は恐らくあんな真面目にしなかったね。」天にいるどんな人もこうは言いません。「わお～！ もし私が、イエスがこんなに早く戻ってくると、急ぐことになると思っていたら、誰も、準備することを後悔しなかったのに。」逆が起こります。後悔するのは、「私が知ってさえいれば、もっと違うやり方をしていたのに。」です。

OK。締めくくるといったのでそうするとしましょうか。私と私の家、私の教会も、私たちは備えます。イスラエルの民が、急いでエジプトから連れ出されたのと同様に、私たちも迅速にこの世から連れ出される準備をします。繰り返します。私たちは、世のために、次に準備されるもののために準備するのか、それとも世から連れ出されイエスが私たちに用意されたその場所のために準備するのかどちらかです。皆さん、後者に同意していただけますか？ その緊急性です。これが「聖書預言・アップデート」をする目的です。これが、私たちがこれをする理由、これが、福音・救いの良い知らせで締めくくる理由です。なぜなら携拳は、福音の一部だからです。イエスが死なれ、葬られ、よみがえられたで、止めないでください。違います。それは全容ではありません。イエスは私たちのために死なれた。イエスは葬られた。イエスは 3 日目によみがえられた。そして、話の続きがあります。イエスはある日、もうまもなく私たちのために戻って来られる。これが「良い知らせ」です！ それが福音です。「救いの ABC」とは何か？ シンプルさについて話します。子どもにでも出来ます。ふむ。。聞き覚えありませんか？ ある筈ですよ。イエスは仰いました。「子どものような者でなければ、決して御国に入ることはできません。」(マタイ 10:15 参照)

それほどシンプルなのです。嬉しくないですか？ 量子物理学を知らなくても救われるのが嬉しくないですか？ つまり、真面目な話、私たちの誰が今ここにいます？ たぶん、あなたが量子物理学をご存知なら、量子物理学を知っていることを私たちに知らせないでください。-(笑)-

ここではあなただけでしょう。(救いの ABC は) 子どもにでも分かる救いの説明です。イエス・キリストを必要としている誰かにイエス・キリストを伝えるという深い特権を、神があなたに与えられる際、あなたを備えるツールなのです。

A：自分が神に背いた罪びとだと、シンプルに、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

自分が罪びとだと認めないなら、なぜ救い主に興味を持ちますか？ あなたは、神がご覧になるように自分を見ていないのです。神はどう私をご覧になっているのか。

「義人 (正しい者) はいない。一人もない。」(ローマ 3:10)

神はどう私をご覧になっているのか。 おお、ローマ人への手紙 3 章 23 節です。神があなたをご覧になっているのは、「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」神はどう私をご覧になっているのか。 おお、ローマ人への手紙 3 章 23 節です。神があなたをご覧になっているのは、「すべての人

は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」神はどう私をご覧になっているのか。 おお、ローマ人への手紙 3 章 23 節です。神があなたをご覧になっているのは、「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」分かりました。私は罪びとです。だから罰則があります。罰則は何か？

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)

それがイエス・キリストにある救いの良い知らせです。それが A です。次に B、非常にシンプルです。ほとんど、こう言う言い方、さらにシンプル。ひと言で言うなら、そういうことです。シンプルな ABC よりも、さらにシンプルです。さらにシンプルに、B だけ。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

それほどかなりシンプルです。最後に C、

C：主の御名を Call/呼び求める。

また再度、**ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、**

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

かもしれないではありません。そしてローマ人への手紙 10 章 13 節が、補強します。

「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」

それほどシンプルです。「私たちは、何もする必要はないの？」ありません。イエスが全てをなさいました。「何か支払わなくていいの？」要りません。イエスが全て支払ってくださいました。「まず洗礼を受けなければならないとか、そういうことはないの？」ありません。「コースを受講する必要はないの？」ありません。皆さんに言います。しばらく話してなかったの。イエス・キリストに人生を捧げた尊い女性がいて、地元の教会メンバーになりたいと思っています。その教会に行ってください。

「私は救われました。新生しました。この教会のメンバーになりたいのです。」すると、聖職者が言いました。「まず、この申請書に記入する必要があります。」彼女は申請書に記入して、戻ってきました。「これでメンバーになれますか？」「いいえ、このコースの受講完了せねばなりません。」彼女は、受講完了しました。「メンバーになれますか？」「いいえ、今度は、これから 12 週間、この聖書の学びをせねばなりません。」それで彼女は 12 週間学び、聖書の学びを完了し、戻ってきて言います。「メンバーになれますか？」「いいえ、今度は、、、」そして彼女は泣き崩れます。そこを去って、公園のベンチに座り、主に泣き叫びます。「主よ、どうすればいいんですか？」イエスが来られ、彼女の隣に座って仰います。「おお愛しい人よ。わたしは何年も、あの教会に入ろうとしているのです。」—爆笑—

今日の「しかし、神は。」の証は、、、君の名前の発音が正しいことを願うよ。アサフ・カンディルちゃんから。

「親愛なる J.D. 牧師へ。貴重なお時間を割いて、この”しかし神は”の証を読んで下さってありがとうございます。アロハ！ 私は 12 歳です。イギリスのウェールズ、_____の近くに住んでいます。(別のオンラインメンバーの証の際に私が言い間違ったので、この子は手助けしてくれています。) スウォンジーの近くに。(そんな綴りじゃないのにスウォンジー。) この証が、私のような若い世代や、キリストの体全

体の励ましの源になることを願っています。(12歳の子ですよ。聞いて下さい。)

この"プランデミック"が始まる前私たち家族は、多くの家族と同じように、流れに身を任せ、生ぬるいクリスチャンとして生きていました。私たちが神の御言葉、特に預言をどれほど知らなかったか嘆かわしいです。私たち教会と、私たちを取り巻く世との間にほとんど区別がありませんでした。(12歳の子どもの発言ですよ。)しかし、その時でさえ神は、敵が悪のために意図したものをうい、それを善のために変えてくださいました。それは何だったのだろうか? 3年前、私たちは旅に出発し、主は私たち家族の一人ひとりに不思議な御業を成し遂げてくださいました。コロナが"公表"されたとき、私たちはすぐに何かあるのではと疑い、主はあなたのユーチューブチャンネルに私たちを導かれました。そしてまもなく、あなたのウェブサイトにとどり着きました。(わお!それは本当にすごいです。私は学位も資格も持っていないから。驚きです。)それ以降/Subsequently、私たちはこう感じました。(12歳で、それ以降/Subsequentlyですよ)注射に対する見解の違いから、神が私たちを教会から召し出されていると感じていました。(なんて悲しいことでしょうか。)神の恵みによって、私たちは誰も、死の注射を受けていません。私たちは、毎週家に集まって6歳の妹が言う"ファワグ/Fawag"を見続けています。(なんて可愛らしいのでしょうか。"ファワグ/Fawag"の方が好きですね。)ありがたいことに、主は次々と啓示を示され、預言に関して私たちを急速に成長させてくださいました。私たちは信じます。

患難前携拳、千年王国支配、救い、神の3つの啓示、父なる神、子なる神、聖霊なる神、礼拝、裁き、霊的戦い、医療、そう、私たちは反ワクチンで、長らく苦しんできました。」12歳です。(会衆:わお!)鳥肌物ですよ。お、失礼。鳥肌が立つ、ですね。鳥肌が立つ&ビーチサンダルね。彼女は続けます。聞いて下さい。

「同時に、何が起こったかわからないうちに、主イエスはかつて従妹だった私たちの姉妹を、母の出身地ルーマニアの壊れた人間関係から救い出してくださいました。(私はこの言葉が大好きです)わずか2週間で、主の御手によって、私たちは彼女のパスポートと書類を準備し、私たちと一緒に暮らすため英国に連れて来れました。難しいことは分かっていたし、実際そうでした。しかし、私たちは主にあって忍耐しました。彼女は今、素晴らしい少女で、読み、書き、算数さえも学び大きく成長しています。彼女は今年、自分の人生を主に捧げたばかりです。主は私たち家族を美しく導いてくださいました。私たち一人ひとりに、このような美しい贈り物が与えられています。私自身、学校で3年先に飛び級し、(学術の話ですね)IGCSEを受けることになり、(それが何なのかさえ知りません)受験します。この夏、兄は2年先に、姉のローザは1年先に飛び級しました。(君たちは賢いんだね。)一(笑)一

すべての栄光を神に帰します。(だからなのでしょうね)私たちが主イエス・キリストを畏れながら、神の美によって完成され続けるように。私たちの評価は重要ではありませんが、神のご好意は人間の好意よりもはるかに高いものです。神の御心なら、今月、私たちは地元の町ニースでオーガニック・ベーカリーをオープンし、最高のものだけを販売し、福音と聖書預言を分かち合う予定です。以前私たちは、世と同じようになろうと努めていました。今、私たちは十字架を背負います。(この子が12歳だとまだ信じられません)今、私たちは日々十字架を背負い、肉を十字架につけ、へりくだり、幼子のようにただ信仰を持ち、主の来臨が間近に迫っていることを大いに期待ながら、特に救われていない人々に届きますように。ありがとう、J.D.ファラグ。(ファワグ/Fawagと言おうとしました) "真理"を広めるためのあなたの勤勉さ、謙虚さ、素晴らしいユーモアのセンスに感謝します。この終わりの時に、主があなたを強め、御言葉を啓示し続け、あなたが主によって祝福されますように。あなたの説教、特に『聖書預言・アップ

デート』は、私たち全員を祝福してくれています。是非、直接お目にかかりたいです。心を込めて、アサフ・カンディルより。」是非いらしてください。神の祝福がありますように。一拍手ー皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。

わお〜。ただただ、わお〜です。主を褒めたたえます。おお神よ。あなたは大変良いお方です。あなたは大変良いお方です。あなたは大変素晴らしいお方です。主よ、あなたに畏敬の念を抱きます。主よ、私たちはあなたを愛しています。主よ、あなたが私たちのために来て下さるのが待ちきれません。主よ、早く来てください。私たちは準備できています。あなたが私たちのために場所を用意して下さることが、あなたが用意して下さる場所のために私たちを準備します。ですから、来て連れて行って下さい。私たちは行きたいです。(会衆：はい。)永遠のいのちという贈り物、救い、福音、良い知らせに感謝します。罪の代価を全額支払って下さり、感謝します。あなたが支払ったその贈り物を私たちに差し出して下さっています。主よ、ここにいる人か、オンラインで見ている人で、だからこそ彼らは見ているのです。今日が彼らの救いの日だからです。今日彼らが、永遠のいのちという人生で最も重要な決断をするよう祈ります。永遠のいのちが与えられた私たちは、マラナタ。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7